

♪ ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

6 月前半に宇久井半島で見られるなかまたち！



「アマツバメ アマツバメ科」
夏鳥。全長 20cm。飛ぶことに特化した鳥で長い翼で高速で飛ぶ。捕食や睡眠、交尾なども飛行中に行う。



「ヤマガラ シジュウカラ科」
留鳥。全長 14cm。雌雄同色。お腹の褐色がよく目立つ。人をあまり恐れず人工の巣箱にもよく入る。



「ヒオドシチョウ タテハチョウ科」
開長 60-70mm。鮮やかなオレンジ色と黒い紋が特徴。成虫は樹液を好み幼虫はエノキの葉を食べる。



☆「ネズミモチ モクセイ科」☆
暖地の山地に生える常緑小高木。新しい枝先に真っ白の花の塊をつけるので遠目にもよく目立つ。



☆「シタキソウ キョウチクトウ科」☆
海岸沿いの林下に生える常緑つる性の多年草。花は 6cm ほどと大きく良い香りがする。



「イシガケチョウ タテハチョウ科」
開長 45-55mm。網目状の模様が特徴。ひらひらと紙切れが舞うように飛ぶ。幼虫の食草はイヌビワ。



「ハマボッス サクラソウ科」
海岸に生える海浜植物。葉は多肉質で光沢がある。花の咲く姿が仏事で使う払子に似ている事が名の由来。



☆「クマノギク キク科」☆
海岸近くのやや湿った所に生える多年草。熊野地方で発見された。ここでは玄関前に植栽されている。



「シイノトモシビタケ キシメジ科」
シイの朽木に生息する光るキノコ。かさの直径は約 1-3cm。自然塾では毎週土曜日に観察会を行っている。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできます。

ようこそ！ 吉野熊野国立公園 宇久井ビジターセンターへ！
晴れ間には梅雨の時期ならではの動植物の観察をお楽しみください(^o^)/

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

宇久井ビジターセンター
2024 年 6 月前半号



吉野熊野国立公園 宇久井半島

夏版

フェリーターミナル方面
通行できません

＜散策時間の目安＞

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース (片道約25分)
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター周回コース (一周約40分)
① → ② → ④ → ⑥ → ① 約1200m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑨ 約1200m



至 R42

自然観察の森

赤灯台

地玉(じこく)の浜

駒ヶ崎灯台

千尋の浜 (上地の浜)

松尾展望広場

外の取



凡例

- 駐車場
- あすまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段

木のすき間から浜が見えます。

木のすき間から
海が見えます。

南紀勝浦
休暇村

ヤマモモ

ヤブツバキ

至休暇村

メジロ
キシバト
ヒヨドリ
ウグイス

上野展望台
防空監視哨

オガタマノキ

蛭子神社跡地

ヤブツバキ

ハゼノキ
(メジロがよく食べに来ます)

ヒサカキ

イヌビワ

カラスザンショウ

ヒサカキ

アオノクマタケラン

クスノキ

スタジイ

タイミンチバナ

ヤブニッケイ

カンコノキ

水壺の跡

灯台まであと4分

ネズミモチ

ヒメユズリハ

モチノキ

モチノキ

モチツツジ

タブノキ

ハマオモト
ハマナデシコ
ハマゴウ
ハマナタマメ
トベラ

ホルトノキ

シロダモ

シロダモ

沢

竹林

周囲ルート

ヤブツバキ

モチノキ

ヒサカキ

ヤマモモ

ヘラシダ

ヒサカキ

ヤブツバキ

マルバウツギ

至 R42

至休暇村

メジロ
キシバト
ヒヨドリ
ウグイス

南紀勝浦
休暇村

フェリーターミナル方面
通行できません

夏版

吉野熊野国立公園
宇久井半島